

# アルカディア探訪

静岡県が推進する「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」は、見逃しがちな小さなアルカディアを探し出す新たな取り組みだ。風土に育まれた個性を生かしながら、多彩な取り組みによって農山漁村の可能性を切り拓く姿勢に、これからの国づくりに向けたヒントが隠されている。

かあさんたちが  
夢と未来を育む  
元気な山間集落

浜松市天竜区 熊

## 全国が注目する先進的な活動

静岡県北西部、天竜川水系・阿多古川の最上流部に位置する浜松市天竜区の熊（地元ではくんまと呼ばれる）地区は、かつて秋葉山・鳳来寺街道と善光寺・奥山街道が交わる交通の要衝としてにぎわった宿場町だ。昭和30年以降、主力産業である林業の衰退とともに人口は半減したが、熊地区に寂しさは感じない。この豊かな自然に包まれた静かな山村では、今も人々の表情に活力があり、観光客の姿も絶えないからだ。

活気を生み出しているのはNPO法人「夢未来くんま」だ。この「まちづくりグループ」は昭和61年に同地区の全戸が加入し設立した「熊地区活性化推進協議会」が前身で、道の駅「くんま水車の里」を活動拠点に、農産物加工所「水車

の里」、物産館「ぶらっと」、食事処「かあさんの店」、体験交流施設「ふれあいの家」などを運営している。その活動の中心は「かあさん」達だ。施設の運営だけでなく、高齢者を対象にした給食や生きがいデイサービス、社会教育、自然保護活動、各種イベントなども行っている。近年は毎年2月に開催する「大寒謝祭」が地域全体のイベントとなり、都市部との交流の一翼を担っている。

早くからまちづくり事業に乗り出し、女性の力を積極的に活用した先進的な取り組みは、過疎化に悩む集落のモデル事業として注目され、平成元年には農林水産祭むらづくり部門で天皇杯も受賞している。

天竜美林に人々の元気な笑い声こだまする熊地区。その情景は理想郷のイメージそのものだ。



デイサービス「どっこいしよ」は高齢者の交流の場として人気。大葉安の棚田は全国棚田百選、静岡県棚田等十選に選ばれている。



アクセス

遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道 西鹿島駅から車で約30分  
新東名浜松北ICから車で約45分